

題材「お手紙」（第1時）

1 本時の学習計画

(1) 学習のねらい

『お手紙』を一度読み、読み進める中で多くの疑問が発見できた子どもたちが、お手紙がどのように郵便受けに入れられるかを見る活動を通して、お手紙を渡し方やもらい方を知り、どうしてがまくんがお手紙をもらったことがないのかを自分の意見をノートに書いたり、話したりすることができる。

(2) 本時の学習材

郵便局から、お手紙が届くまで

- 子どもたちの中には、お手紙をもらったことがない子がいるだろう。お手紙をもらったことがない子へお手紙がどういう流れでお手紙が届くか、「お手紙」をもらうことについて知るために学習材を提示する。
- 本学取材は、郵便局から「お手紙」が家に届くまで、この話における「お手紙」をもらうことをまとめたパワーポイントである。これにより、「お手紙」をもらうということを知り、「お手紙」をもらうことを知り、がまくんがお手紙をもらえないのはどうしてだろうかと考えるためのイメージを掴むことが出来ることを期待する。

(3) 学習の展開

過程	学 習 活 動	予想される子どもの動き	時間	指 導 と 評 価
課題把握	1. お手紙の最初の見開きを読んでみよう	・昨日読んだから分かる 子どもは教科書をもう一度読んでみる	5	・「みんなはお手紙もらったことある？」という問いから学習材を提示する。
展開	2. 不思議だなと思った謎をノートにかこう	・どうして悲しいってわかったのだろう ・どうして玄関にいるの ○ どうしてお手紙をもらったことがないのだろう	10	学習材 「郵便局から、お手紙が届くまで」 ・ページを確認しつつ読むとこころが分かりやすく説明できるとよい ・「どうして玄関で待っていたのだろう」「どうしてお手紙を待つ時間があるの？」という疑問が出たところで学習材を提示する。 ・がまくんがお手紙をもらったことがないことについて、子どもの意見を分かりやすくかみ砕いて話す
	3. 謎を全体で共有し、考える	・お手紙待つ時間を他の楽しいことにすれば良いのに	25	
終末	学習課題 どうしてがまくんはお手紙をもらったことがないのだろう			
	4. 本時を振り返る	・友達がいなかったんじゃない ・自分からお手紙出せば良かったと思う ・かたつむりくんとカエルくんしか友達いないの？ ・がまくんは友達がいなかったのかな～ ・	5	評価 疑問に思ったことをノートに書くことが出来たか、他の人の疑問や意見を聞き、自分なりにかんがえることができる。